

ジビエを使った学校給食の実施（福井県小浜市）

取組概要

野生鳥獣が自然にもたらす影響や、海と山の関係について考える総合学習を行った上で、捕獲したケモノの命を無駄にせず山の恵みとして大切に頂くことを目的とした「ジビエ給食」を実施。

自然の大切さやジビエの美味さを伝えるとともに、今後、ジビエを食習慣としてなじみのあるものとし、さらには将来の捕獲の担い手育成につなげる。

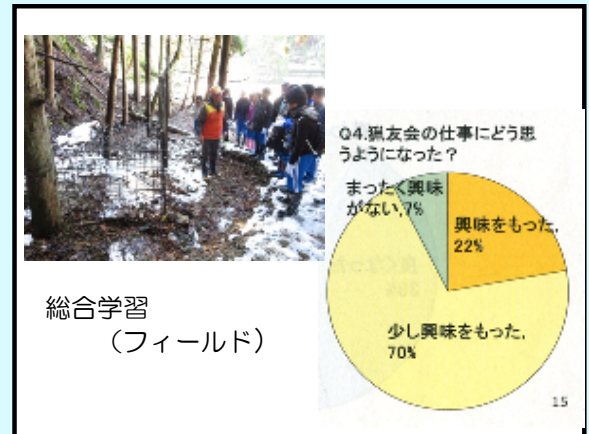
人口30,156人（H28.7.31現在）

担当 農林水産 課

取組の効果

総合学習により、野生鳥獣による被害の現況や対策、猟友会の仕事、ジビエの美味しさなどについて理解が進んだ。

児童が自らジビエを活用したレシピを考案。そのレシピは地域住民にお披露目されるとともに、学校給食に採用された。



総合学習実施後のアンケート

創意・工夫した点

- ①学校関係者に対して、ジビエについての研修会を実施。
- ②総合学習に猟友会が積極的に参画。
(座学・フィールド学習)
- ③獣肉の品質確保。(細菌検査)

他団体へのアドバイス

- ①市と猟友会との信頼関係の構築。
- ②総合学習実施することにより学校関係者への理解が得られる。
(鳥獣被害研修の実施)



生徒自らが考案したジビエ給食

生徒自らがジビエ料理を考案